

公開実用 昭和62-98383

引用例 7

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭62-98383

⑫ Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和62年(1987)6月23日

H 04 N 5/65
G 09 F 9/00
G 09 G 1/00

3 1 4

6517-5C
6731-5C
7923-5C

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 フィルタ固定装置

⑮ 実 願 昭60-189821

⑯ 出 願 昭60(1985)12月10日

考 案 者 今 井 寛 二 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1、考案の名称

フィルタ固定装置

2、実用新案登録請求の範囲

基台部材と、基台部材と接合されたときの断面形状がコ字形になる押え部材と、前記コ字形の内側に密着するように設定され表面に粘着性を持つクッション材とを備え、このクッション材を介してフィルタを上記コ字形の部分ではさみ込むようにしたフィルタ固定装置。

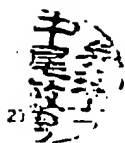
3、考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は、車載用ディスプレイ装置等の振動の激しい場所を使用するフィルタを安定に保持できるフィルタ固定装置に関するものである。

従来の技術

従来より一般に市販されているテレビジョン受像機のフィルタの固定手段としては、第3図に示すように、マスクAにフィルタBをはめ込むことができるような形状の孔を設け、そこにフィルタ



2

8を設置した後、フィルタ8のずれ防止の為にフック9をはめ込むようにしている。

考案が解決しようとする問題点

ところが、近年、乗客を運ぶ商業車のみならず、一般の自家用車にも多くのテレビジョン受像機が取付けられるようになってきた。また、車の各部にセンサーを設け、ドライビング情報を表示するCRTディスプレイ装置を装備した車種も販売されている。このような状況の中で、ディスプレイ装置の耐震性が問題になってきている。

従来例のような構成にした場合には、フィルタの外形寸法のばらつきを見込んでマスク7とフィルタ8及びフック9とフィルタ8の隙間を十分にとっている。そのため、強い振動がかかった時にフィルタ8が大きく動き、フィルタ8が端面より欠けたり、大きな音を発する等の問題があった。

本考案はこのような従来の問題点を解決するものであり、振動の激しい場所で使用するフィルタを安定に保持できるフィルタ固定装置を提供することを目的とするものである。



問題点を解決するための手段

本考案のフィルタ固定装置では、基台部材と、
基台部材と接合されたときに断面がコ字形になる
押え部材と、そのコ字形部の内側に密着するよう
に設定され表面に粘着性を持つクッション材とを
備え、このクッション材を介してフィルタをコの
字形状部ではさみ込むようにしたものである。

作用

かかる本考案の、フィルタ固定装置によれば、
基台部材と押え部材とによりコ字形部を形成し、
このコ字形部内にクッション材を介してフィルタ
をはさみ込むようにしたので、フィルタの厚みの
ばらつきをクッション材のつぶれ具合で吸収し、
またコ字形部を形成する押え部材をフィルタの端
面にクッション材が密着するような位置に取付け
ることで、外形寸法のばらつきも吸収し、端面の
保護もすることになる。また、クッション材の表
面に粘着性を持たせることで、クッション材のす
べりを防止するものである。

以上のように、フィルタの寸法のばらつきを十

4 へ

分に吸収して確実に取付けることができるので、十分な耐震性が得られるとともに端面も保護され、フィルタの欠けや、振動音の発生も防止できる。

実施例

以下、本考案の一実施例のフィルタ固定装置を図面を参照して説明する。第1図は本考案の一実施例の構成を表す断面図である。

まず、フィルタ5にクッション材4を取付け、基台部材1に対して所定の位置に設置する。その後、フィルタ5の端面をクッション材4を介して押え部材2に密着させるように押え部材2を取付け、ビス6等で強固にコ字形部3内にフィルタ5を固定する。以上の構造を必要に応じて複数個設ければよい。

第2図に示す実施例は、長方形をしたフィルタ5の4辺を4個の押え部材2を用いて固定したものである。フィルタ5の各辺の端面はクッション材4を介して押え部材2に密着するように取付けられているので、フィルタ5の各辺の長さのばらつきによるがたつきは生じない。また、厚み方向

のばらつきもクッション材４のつぶれによって吸収されている。また、クッション材４の振動時におけるすべりはクッション材４の表面に粘着性を持たせることで防止する。

なお、基台部材１にビス穴１０等を設ければ、ディスプレイ装置等の必要な所へフィルタ５を装着することができる。また、本実施例では基台部材１は一体に示されているが、必要に応じて適当に分割してもよい。

10 考案の効果

以上のように、本考案のフィルタ固定装置は、基台部材と、この基台部材と接合されたときに断面がコ字形になる押え部材とによりコ字形部を形成し、このコ字形部内に表面に粘着性を持たせたクッション材を介してフィルタをはさみ込むようにしたものであり、フィルタの寸法のばらつきをクッション材のつぶれや押え部材による端面の密着で吸収することができてがたつきのない強固な固定をすることができるものである。

したがって、強い振動の存在する場所で使用さ

6

れでも安定な固定状態が得られ、フィルタの端面の欠けや振動音の発生を防止し、振動に対する高信頼性を得ることができるものである。

4、図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例のフィルタ固定装置の構成を示す断面図、第2図はその斜視図、第3図は従来例のフィルタ固定装置を示す断面図である。

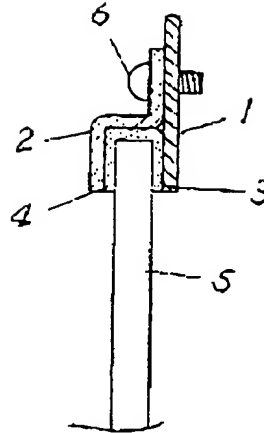
1 ……基台部材、2 ……押え部材、4 ……クッション材、5 ……フィルタ。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

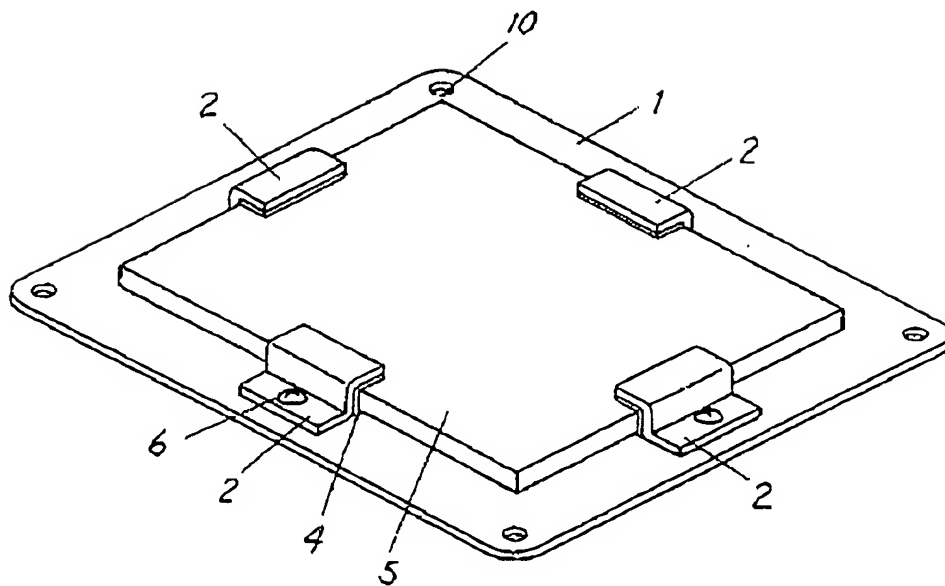


第 1 図

- 1 ... 基台部材
- 2 ... 押え部材
- 3 ... フの字形状部
- 4 ... クッション材
- 5 ... フィルタ
- 6 ... ネジ
- 10 ... ネジ穴



第 2 図



代理人の氏名

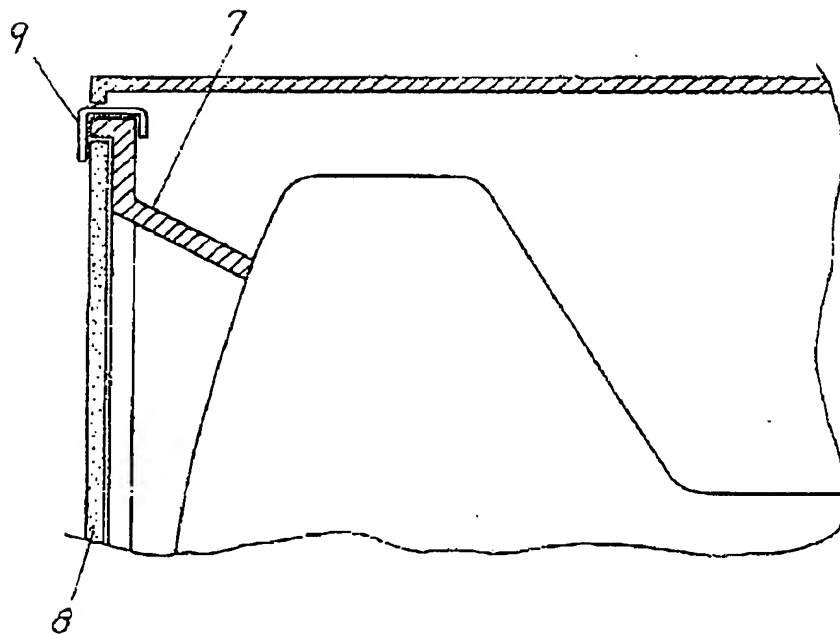
930

弁理士 中 尾 敏 男

実 施 例 1 名

7... マスク
8... フィルタ
9... フック

第 3 図



代理人の氏名 931
弁理士 中 尾 敏 男

ほか1名

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.